

景況調査 秋田

第1回「秋田県内企業景気動向調査」(概要)

1 調査の目的

秋田県内に本社を置く法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しについて調査を行い、県内景気の動向を把握することを目的とする。

2 調査の方法

アンケート対象企業(420社)有効回答数312社(回答率74.3%)すべての質問事項についてDI(Diffusion Index)値を求める。たとえば、各社の業況を示す「自社の業況DI値」の算出方法は「自社の業況DI値」=([良い]と回答した企業の割合) - ([悪い]と回答した企業の割合)

3 調査期間

平成23年8月2日~19日

4 地域区分

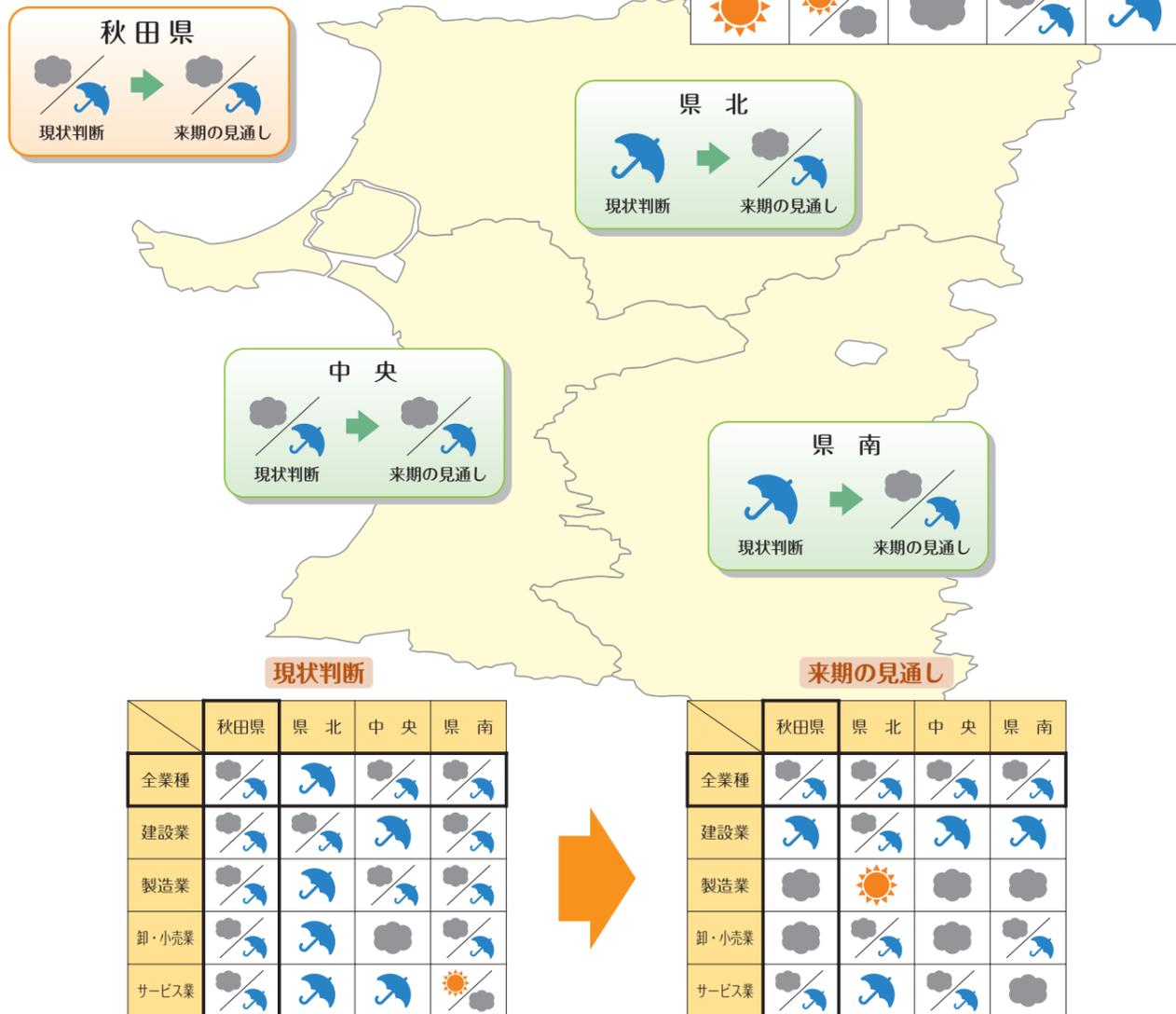
| 地域名 | 対象となる市町村名 |
|-----|--|
| 県北 | 大館市、能代市、北秋田市、鹿角市、三種町、八峰町、小坂町、藤里町、上小阿仁村 |
| 中央 | 秋田市、由利本荘市、潟上市、男鹿市、にかほ市、五城目町、八郎潟町、井川町、大湯村 |
| 県南 | 横手市、大仙市、湯沢市、仙北市、美郷町、羽後町、東成瀬村 |

景気の天気図

天気図とは、地域別・業種別の景気動向を見比べるため、自社の業況DI値(前年同期比)を5段階に分けて図解したものである。「天気図の凡例」をご参照のこと。

【天気図の凡例】

| 特に好調 | 好調 | まあまあ | 不振 | きわめて不振 |
|---------|--------------|--------------|--------------|----------|
| DI ≥ 30 | 30 > DI ≥ 10 | 10 > DI ≥ 10 | 10 > DI ≥ 30 | ▲30 > DI |
| | | | | |



秋田県企業の景気動向

現状判断

自社の業況判断を示す「自社の業況DI値」(前年同期比)は▲25.0の「悪い」超となった。

今回調査における山形のDI値は▲17.2(P21参照)となっており、現状、秋田の方が山形に比べて業況の厳しさが窺える結果となった。

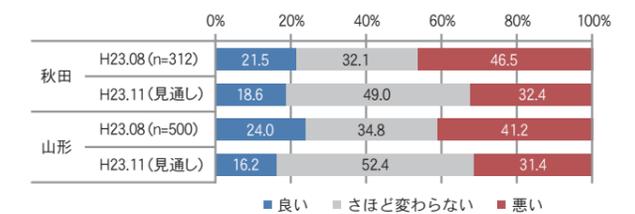
図表1 「自社業況DI値(前年同期比)」

| 全業種(秋田) | DI値(前年同期比) | | | | |
|---------------|------------|-------|-------|-------|---------|
| | 調査時(サンプル数) | 自社業況 | 売上高 | 営業利益 | 人員人手 |
| H23.08(n=312) | ▲25.0 | ▲19.2 | ▲22.7 | ▲4.5 | ▲11.2 |
| H23.11(n=312) | ▲13.8 | ▲12.9 | ▲15.1 | 5.2 | ▲21.8 |
| 来期予測: 変化幅 | (11.2) | (6.3) | (7.6) | (9.7) | (▲10.6) |

来期の見通し

「自社の業況DI値」(前年同期比)が▲13.8(11.2ポイント上昇)となり、依然「悪い」超ながら改善の見込みで、山形とほぼ同水準となっている。

図表2 「自社業況(前年同期比)」山形との比較



業種別の動向

現状判断

「自社の業況DI値」(前年同期比)は建設業で▲29.4、製造業で▲26.7、卸・小売業で▲19.1、サービス業で▲26.2となり、各業種とも「悪い」超となった。

山形(建設業▲16.4、製造業▲19.8、卸・小売業▲9.2、サービス業▲22.5)と比較すると、いずれの業種でも、秋田のマイナス幅が山形より大きく、特に建設業でDI値に大幅な乖離がみられる。

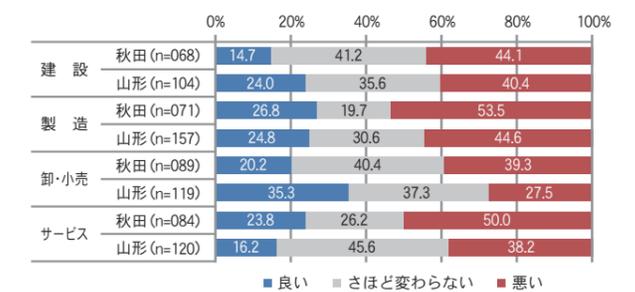
図表3 業種別「自社業況DI値(前年同期比)」

| 業種別 | 自社業況DI値(前年同期比) | | | |
|---------------|----------------|--------|--------|-------|
| | 調査時(サンプル数) | 建設 | 製造 | 卸・小売 |
| H23.08(n=312) | ▲29.4 | ▲26.7 | ▲19.1 | ▲26.2 |
| H23.11(n=312) | ▲39.7 | 5.7 | ▲4.5 | ▲19.0 |
| 来期予測: 変化幅 | (▲10.3) | (32.4) | (14.6) | (7.2) |

来期の見通し

建設業が▲39.7(10.3ポイント下落)と悪化を見込む一方、製造業が5.7(32.4ポイント上昇)と「良い」超に転じたほか、卸・小売業が▲4.5(14.6ポイント上昇)、サービス業が▲19.0(7.2ポイント上昇)といずれも改善の見込みとなっている。

図表4 業種別「自社業況(前年同期比)」山形との比較



地域別の動向

現状判断

「自社の業況DI値」(前年同期比)は県北で▲41.3、中央で▲24.0、県南で▲18.4となり、各地域とも「悪い」超となった。

県北が大幅なマイナスとなったが、一方で回答企業の構成比で卸・小売業の割合が高かった県南でマイナス幅が比較的小幅にとどまるなど、地域によってバラツキがみられた。

図表5 地域別「自社業況DI値(前年同期比)」

| 地域別 | 自社業況DI値(前年同期比) | | |
|---------------|----------------|--------|-------|
| | 調査時(サンプル数) | 県北 | 中央 |
| H23.08(n=312) | ▲41.3 | ▲24.0 | ▲18.4 |
| H23.11(n=312) | ▲21.8 | ▲10.1 | ▲17.3 |
| 来期予測: 変化幅 | (19.5) | (13.9) | (1.1) |

来期の見通し

県北で▲21.8(19.5ポイント上昇)、中央で▲10.1(13.9ポイント上昇)、県南で▲17.3(1.1ポイント上昇)といずれの地域でも改善の見込みとなっている。

図表6 地域別「自社業況(前年同期比)」

